

# 第34期長崎県社会教育委員会

第4回委員会 平成29年8月21日(月)



諫早市立西諫早小学校学校支援会議の視察及び諫早市社会教育委員との意見交換会を行いました。

## 意見交換会

地域のポテンシャルの高さ、関わる人の多さに驚いた。関わる皆さんの志の高さ、耕されている地域性はどこから来るのだろうか。



学校支援会議の立ち上げは、当時の校長の強いリーダーシップと熱い思いによるもの。それに地域も心を動かされ、一緒に取り組んでおり、学校と地域を結び付けてくれた旗振り役であるコーディネーターの存在は大きい。また、学校支援会議を継続し取り組まれてきた校長のリーダーシップも素晴らしい。

皆さんの意見から校長先生の熱い思いを感じることができたが、どうしたら学校側の思いを引っ張り出すことができるのだろうか。



会議の席で意見を述べることも大切だが、とにかく校長とコミュニケーションをとり、校長の思いを引き出している。



参加している皆さんが笑顔で語っている状況は、学校と地域がよい関わり合いができている証拠である。

今後、地域を支えてきた社会教育関係団体は縮んでいくし、子どもの数が減少すればPTAの数も減ってくる。そういう状況の中で、学校支援会議が今後どういう形で発展していけばよいかという課題は残っていくのと思うが、それを考えていく母体がここ西諫早地区にはあると感じた。



学校支援会議が今後も持続可能な取組となるためにも、PTA等幅広く地域住民の方々をその気にさせる必要がある。

